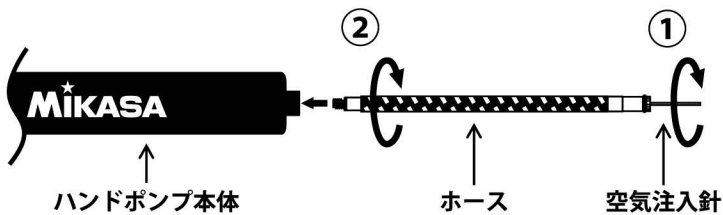


使用上の注意

- ・弊社商品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
- ・この使用上の注意をお読み頂き、正しくご使用ください。
- ・なお、使用上の注意は捨てずに保管していただき、必要な時にご覧ください。
- ・空気を入れる際には適正内圧を守ってください。(破裂の恐れがあります。)

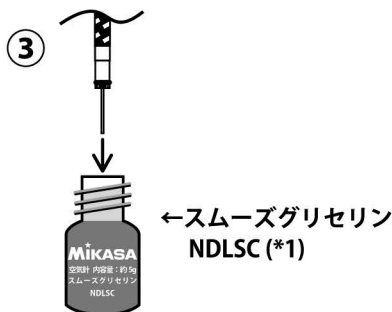
●ポンプの組み立て

- ① 空気注入針をホースに取り付けます。
- ② ホースを矢印の方向にまわしてハンドポンプ本体にねじ込みます。
(注意：強くねじ込み過ぎると破損することがあります)



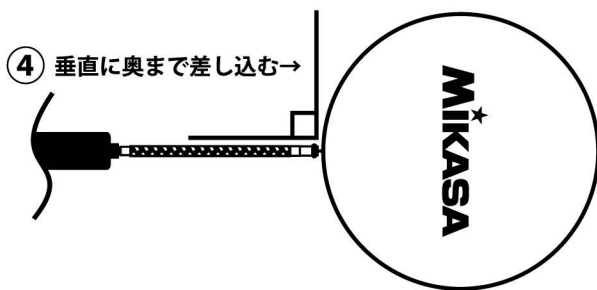
● 空気を入れる前に

- ③ 空気注入針が空気注入口にスムーズに入るように、空気注入針の先端にスムーズグリセリンを付着させます。
使用後はスムーズグリセリンのキャップをしっかりと閉めてください。
*スムーズグリセリンは潤滑剤の役割を果たし、バルブの寿命を長くすることができます。

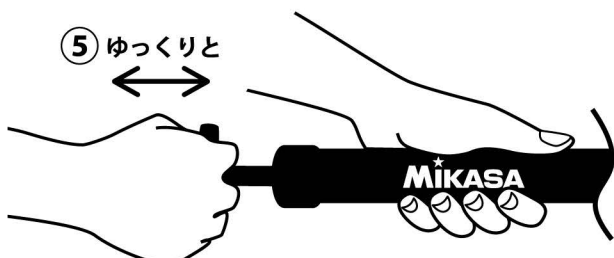


● 空気の入れ方

- ④ 空気注入針を空気注入口に対して、まっすぐ（垂直）奥まで差し込み、空気を入れてください。まっすぐ（垂直）に差し込まないとバルブにキズがついて空気モレの原因となります。

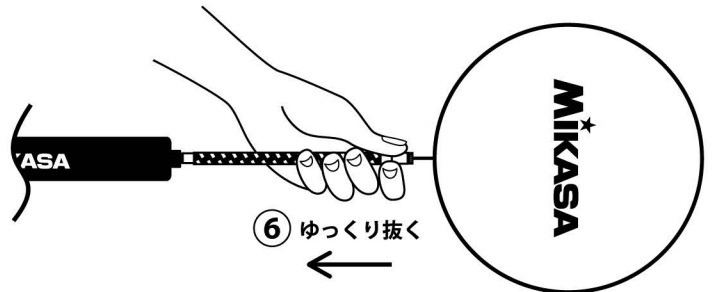


- ⑤ 一度に沢山の空気を入れるのではなくゆっくりと少しずつ空気を入れて下さい。空気を入れる量は空気注入口付近に記載されている適正内圧や指定の円周に従ってください。ボール内部の圧力はデジタルエアゲージ (*2) で測定できます。空気を入れ過ぎるとボールが変形したり破裂する恐れがあります。空気の入れ過ぎには十分注意して下さい。



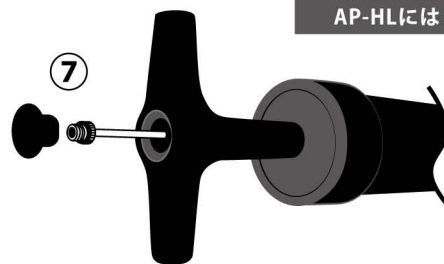
注意 適正内圧を必ず守る

- ⑥ ボールに空気注入後はホースの先端を持って空気注入針を抜いてください。



● 空気注入針の収納

- ⑦ 空気注入針はホースから外して下図の場所に収納することが可能です。安全のため、使用後は空気注入針をホースから外し、収納してください。



※APHL-AZのみとなります。
AP-HLにはございません。

● 空気圧の減少

- ⑧ ボールの空気圧は時間の経過とともに減少します。また温度の変化によって空気圧も変化しますので使用の前に必ず空気圧の確認をして適正な空気圧でご使用下さい。



● 使用した用具・機器

- *1：スムーズグリセリン NDLSC (空気注入針が1本付属しています)
- *2：デジタルエアゲージ AG-500 または AG-1000

MIKASA

株式会社 ミカサ

〒731-3362
広島市安佐北区安佐町久地1番地